



平成16年12月22日

各位

会社名 株式会社メディビック
代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘
(コード番号2369:東証マザーズ)
問合せ先 執行役員管理本部長 太田雅敏
(Tel: 03-5510-2407)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成16年8月3日に公表した平成16年12月期(平成16年1月1日~平成16年12月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成16年12月期通期業績予想数値の修正(平成16年1月1日~平成16年12月31日)
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	585	339	334
今回修正予想(B)	281	606	595
増減額(B-A)	303	267	261
増減率(%)	51.8		
(ご参考)前年実績(平成15年12月期)	484	22	20

2. 平成16年12月期通期連結業績予想(平成16年1月1日~平成16年12月31日)
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	779	216	291
今回修正予想(B)	377	611	629
増減額(B-A)	402	394	338
増減率(%)	51.6		
(ご参考)前年実績(平成15年12月期)			

平成16年12月期中間連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前年実績はありません。

3. 修正の理由

単体

当期のコンサルティング事業は、国内、海外の大手製薬会社を始め、異業種からもバイオ事業に参入している企業への受注が増え、期初の計画を上回る業績を達成することが出来ており、前年同期を上回る見込みです。コンサルティング活動で獲得した案件については、インフォマティクス事業へ引き継ぐものとなり、来期へ期待できる結果となることを見込んでいます。

一方、インフォマティクス事業は、バイオテックで先行する欧米のライフサイエンス事情を考慮して「遺伝子解析から化合物開発支援へインフォマティクスサービスを展開」する拡充戦略を進め、新薬開発のプロセスにおける支援活動領域を拡げることができました。しかしながら、新プラットフォーム群の受注活動には不十分な期間となり、計画の案件数を達成するには至らない見込みとなりました。

また当期は、ビジネスモデルの第3の柱であるテーラーメイド創薬事業に向けて研究開発投資を開始した年度でありました。

創薬に結びつける候補化合物を川上から川下へ繋ぐべく、コンサルティングからインフォマティクス、そしてテーラーメイド創薬へ着実にビジネスターゲットを拡大し、来期に向けて、その歯車が効率よく回りだす環境が整ったものと考えております。

以上の結果、通期においては、売上高予想 585 百万円に対して 281 百万円、経常損失予想 339 百万円に対して 606 百万円、当期純損失予想 334 百万円に対して 595 百万円の見込みとなりましたので、予想を修正いたします。

連結

当期は、連結子会社であります株式会社アドバンスト・メディカル・ゲートウェイにおける細胞治療の施設関連の事業が開始されております。既に売上実績をあげておりますものの連結子会社としての計画を達成することは難しい見込みです。

以上の結果、通期においては単体の業績予想修正及び連結子会社の計画未達成予想により、売上高予想 779 百万円に対して 377 百万円、経常損失予想 216 百万円に対して 611 百万円、当期純損失予想 291 百万円に対して 629 百万円の見込みとなりましたので、予想を修正いたします。

(注) 本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点で得られました情報に基づき算定しております。実際の業績は、今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以 上